

24.12.8
国有林におけるNPO団体等活動発表会

雷別ドングリ倶楽部の歩み



発表者
清水信彦（雷別ドングリ倶楽部）

雷別地区国有林の位置



- ・雷別地区国有林は、釧路市から約30km離れた標茶町内にある
- ・釧路湿原にある「シラルトロ沼」の上流部に位置する
- ・標茶町内の牧草地に隣接した雷別地区国有林に、森林再生事業地がある

シラルトロ沼周辺と雷別地区国有林



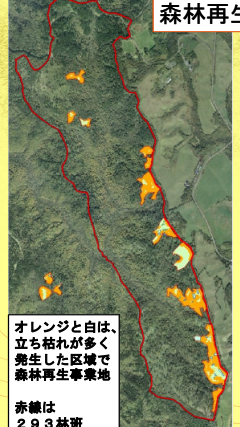
シラルトロ沼

シラルトロ沼川流域

雷別地区国有林


293林班
(森林再生事業
着工に突如して
いる区域)

森林再生事業地の概要



- ・雷別地区国有林には、植林後70年を超えるトドマツの人工林があった
- ・平成12年の冬に、強い乾燥のため、トドマツの立ち枯れが発生して、多くの場所がササ原となった
- ・森林再生の目的は
 - ① 釧路湿原にきれいな水を供給
 - ② 下流の濁水や洪水を防ぐ

オレンジと白は、立ち枯れが多く発生した区域で森林再生事業地
赤線は293林班



立ち枯れ被害とササが多く目立つ森林再生事業地の様子

雷別ドングリ倶楽部の立ち上げ

【目的】
雷別地区国有林での森林再生活動に、多くの人に関わってもらうために設立

【構成】
継続的に森林再生活動を行うためのボランティア集団として、平成19年7月に11名の参加者で開始

現在は28名が参加

雷別ドングリ倶楽部の活動内容（イメージ）



- ・広葉樹の植樹
- ・森林の生育調査
- ・樹木の種子採取
- ・植生調査
- ・シカ食害調査
- ・苗木育成
- ・キノコ栽培・・・など

雷別ドングリ倶楽部の活動 1

平成19年7月
最初の会合でドングリ倶楽部の趣旨説明等



7

雷別ドングリ倶楽部の活動 2

【苗木育成】
マルチキャビティコンテナに、ヤチダモの稚樹を移植



播種するための土作り

8

マルチキャビティコンテナ

この育苗コンテナは、地面から10センチ程度離して設置する。
(空中で育苗している状態)

この状態で育苗すると、根が空気層に達した時に、伸長を停止させ、コンテナ内部で理想的な根を形成する。



9

雷別ドングリ倶楽部の活動 3

【広葉樹の植樹】
ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、イタヤカエデ、シラカンバの樹種を使用



植樹をした稚樹にヘキサチューブを設置して、シカからの食害を予防

10

雷別ドングリ倶楽部の活動 4

【育苗区域の設置】
森林再生事業地の中で、防鹿柵を設置して、育苗する区域を設置



防鹿柵内でドングリを播種

11

雷別ドングリ倶楽部の活動 5

【その他の活動】
より深く森林に親しむことを目的として、間伐体験、炭焼き体験、冬芽の観察会などを実施



間伐体験



飾り炭の作成体験



冬芽の観察会

12

まとめ

- ・雷別ドングリ倶楽部は、釧路湿原上流地域で森林再生のためのボランティア団体として活動
- ・森林再生活動だけではなく、森林で実施する林業体験なども実施
- ・更に活動を活発化して、釧路地域の森林再生活動や森林ボランティアの輪を広げる